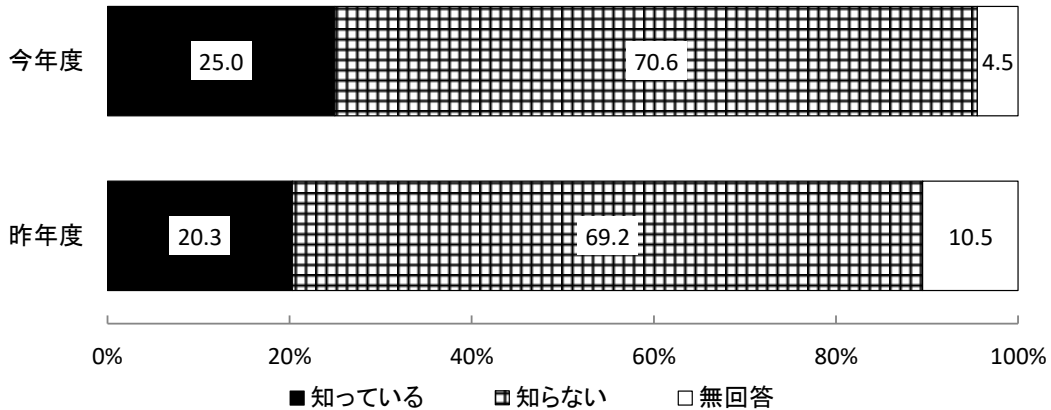


18. コミュニティ・スクールについて

18-1. コミュニティ・スクールの認知状況

Q18-1 山口県では、すべての公立小中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組みが導入されており、保護者や地域住民の声を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進しています。あなたは、校区の小中学校が「コミュニティ・スクール」であることをご存じですか。（○は1つ）

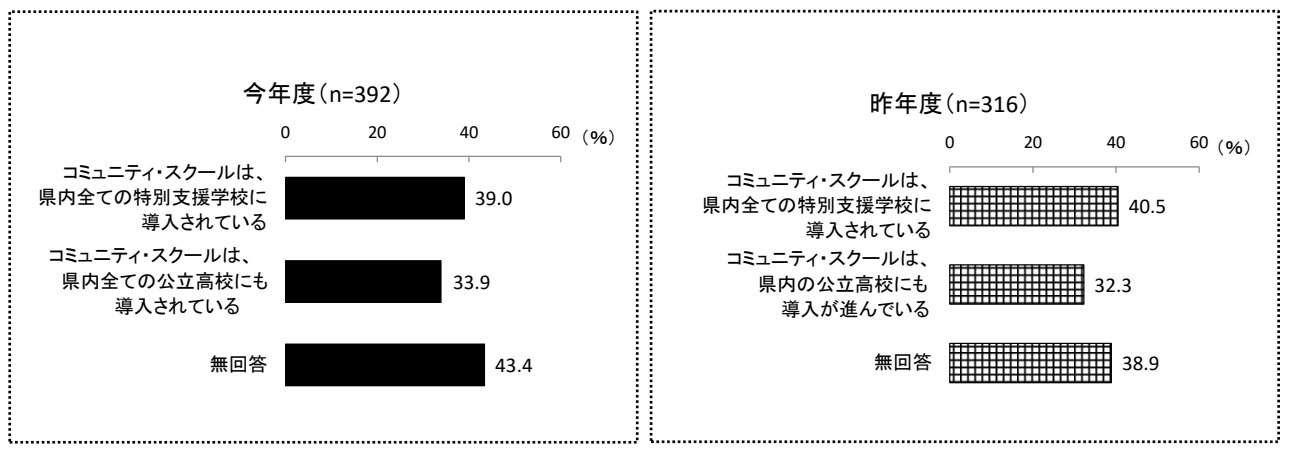


コミュニティ・スクールの認知度について、「知っている」が25.0%となっており、昨年度と比較すると、4.7ポイント上昇している。

18-2. コミュニティ・スクールについて知っていること

【Q18-1で「1. 知っている」と回答した方に】

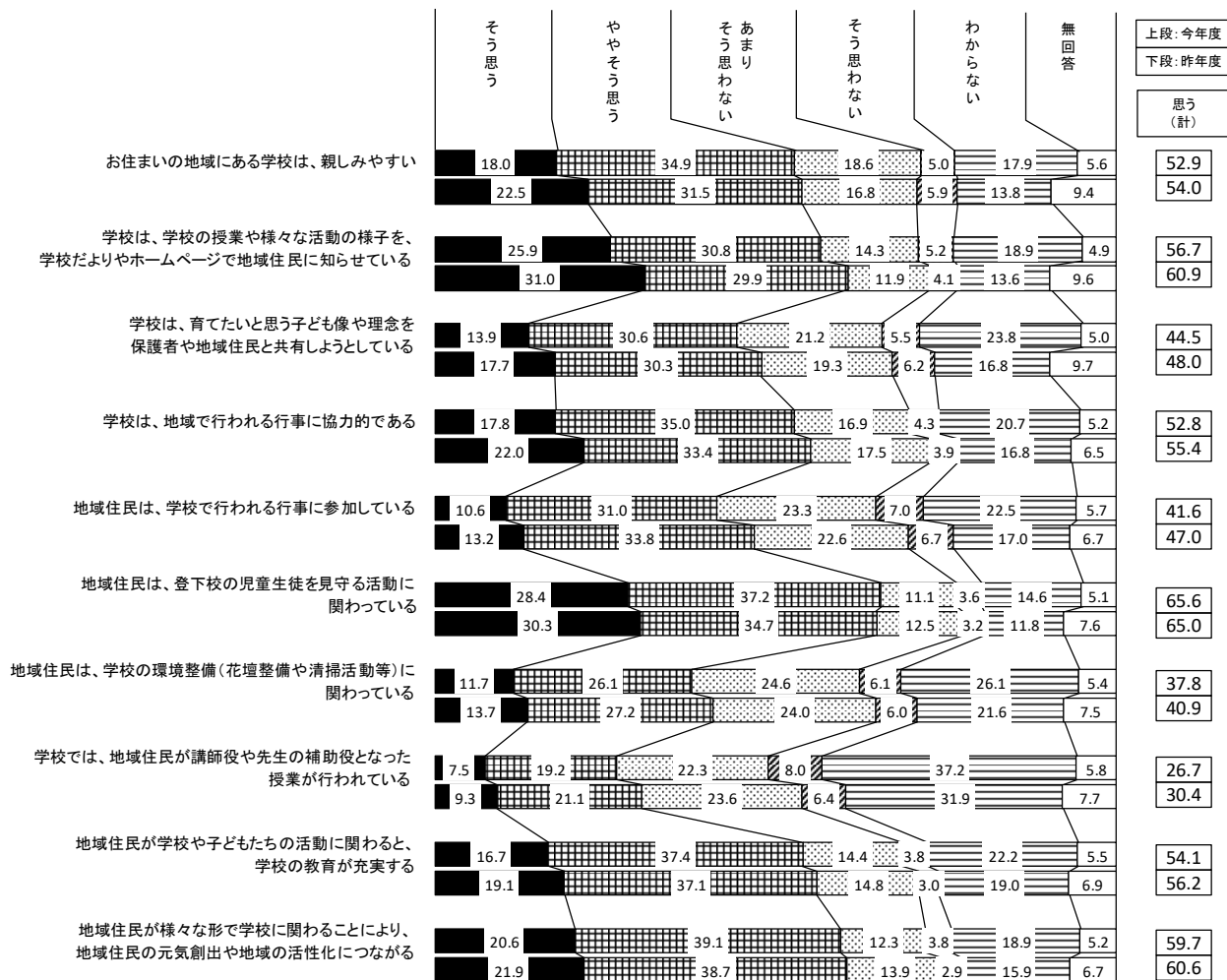
Q18-2 「コミュニティ・スクール」について以下のことをご存じでしたら○をつけてください。（複数回答可）



Q18-1で、「コミュニティ・スクールについて知っている」と回答した人のうち、「県内全ての特別支援学校に導入されていることを知っている」と答えた人は、39.0%であった。

18-3. 地域と学校との関係

Q18-3 あなたがお住まいの地域と地域にある学校（小学校、中学校いずれについてでも可）との関係について、あなたはどの程度そう思いますか。そう思う程度を教えてください。（〇はそれぞれ1つ）



地域と学校との関係について、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う(計)』の割合は、「地域住民は、登下校の児童生徒を見守る活動に関わっている」が65.6%と最も高く、次いで「地域住民が様々な形で学校に関わることにより、地域住民の元気創出や地域の活性化につながる」が59.7%、「学校は、学校の授業や様々な活動の様子を、学校だよりやホームページで地域住民に知らせている」が56.7%の順となっている。